

KIMONO ROBOTO

伝統が舞りなす未来

2017年11月30日

メルコリゾーツ&エンターテインメント

【当日レポート】

世界的アーティストとのコラボレーションによるエキシビジョン 「KIMONO ROBOTO」

アンベールセレモニーイベントに、

ケイト・モスさん、中村獅童さん、森星さんが登場！
「新しい着物の見せ方にとっても興奮しております！（中村獅童さん）」



日本の伝統文化に刺激を受け、世界で活躍する一流アーティストが手掛けた作品を展示したエキシビジョン「KIMONO ROBOTO」が、2017年12月1日から10日まで、表参道ヒルズ本館 B3F スペース オーにて開催されます。

「KIMONO ROBOTO」は、2014年よりメルコが日本で取り組んでいる、プロジェクトの一つです。日本の着物文化を京都府や国立博物館、美術館、そして各専門家の皆様の協力のもと、合計23点の着物を、日本を代表する産地に依頼し制作しました。東京での開催には、460年の歴史を持つ京友禅の老舗「千總」が総力を上げ制作に取り組んだ、このプロジェクトを代表するメインの展示物「束熨斗文様振袖」、皇室献上作家：藤井寛作「慶長桃山小袖松皮文様」など、13点を展示いたします。

12月1日からの開催に先立ち、ファッションモデルのケイト・モスさん、歌舞伎役者の中村獅童さん、ファッションモデル森星さんが、オープニングセレブション・点灯式に登場いたしました。

中村獅童さんはご自身の着物で登場。森星さんは自分でチョイスしたというモノトーンの着物姿で登場し、「モノトーンな着物にパンクっぽさを刺し色のパープルで表現しました！」と、こだわりポイントを語っていました。

メルコリゾーツ&エンターテインメントの会長兼最高経営責任者（CEO）であるローレンス・ホーさんとゲストの3名が、点灯を行うと、約40秒の音楽と光の演出がスタート。ケイト・モスさんをはじめ、全員がステージから降り、会場内の美しい着物の数々にみとれていました。

中村さんは「私自身、伝統と革新をテーマに活動をしているため、このようなイベントに参加できて嬉しい」とコメント。森さんは、「何か新しいことを始めたいけど、一歩踏み出せない人にぜひ来てほしい、そんな革新的で素晴らしいイベントです」と「KIMONO ROBOTO」に感激している様子でした。

日本の着物の素晴らしさを国内外に発信する、新しいイベントが開幕いたしました。

▽本イベントのオフィシャル画像は、下記URLよりダウンロード可能です。

<http://urx2.nu/HhmJ>

※画像の保存期間は12月8日（金）まで

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

「KIMONO ROBOTO」PR事務局

担当：鈴江(070-3190-3660)、蜂須賀(080-4069-0740)、谷本、小山

TEL: 03-6894-3260 FAX: 03-5413-3050 E-mail: kimonoroboto_pr@steady-study.co.jp

オープニングイベント概要

- 正式名称 : 「KIMONO ROBOTO」アンベールセレモニーイベント
- 主催 : メルコリゾーツ&エンターテインメント
- 日時 : 2017年11月30日(木) 15:15~16:00
- 場所 : 表参道ヒルズ本館 B3F スペース オー (東京都渋谷区神宮前4-12-10)

- 登壇者 : ローレンス・ホー(メルコリゾーツ&エンターテインメント会長兼最高経営責任者)
シャロン・ホー(ローレンス・ホー 夫人)
ケイト・モスさん(ファッションモデル)、中村獅童さん(歌舞伎役者)、森星さん(ファッションモデル)

- スケジュール : 15:15 オープニング
15:18 メルコリゾーツ&エンターテインメント会長兼最高経営責任者(CEO)ローレンス・ホーより挨拶
15:21 ケイト・モスさん、中村獅童さん、森星さん 登場
15:26 ケイト・モスさん、中村獅童さん、森星さん、ローレンス・ホーご夫妻によるエキシビジョンの点灯
15:35 フォトセッション・囲み取材
15:50 イベント終了

【囲み取材】

Q:実際に「KIMONO ROBOTO」オープニングセレモニーに参加された感想はいかがでしたか？

森星さん:着物の伝統的な制作方法や、職人さんの技に私たちの世代から触れ合いが少なくなってきたと思います。これは、私たち若い世代にも着物の奥深さを広める機会であり、今回のプロジェクトに参加できて嬉しく思います。

中村獅童さん:着物はオシャレな物なのです。このイベントをきっかけに、より多くの人に着物の素晴らしさが伝わると思うと、とても嬉しいです。

Q:今後、ロボットと歌舞伎の共演はいかがですか？

中村獅童さん:常に革新的な歌舞伎を発信していますので、ロボットとの共演もあると思います。

Q:実際に今回着物を着られていかがですか？

森星さん:私は母親がイタリア系のアメリカ人なので成人式などの日本のイベントでも着物を着る機会なかったのですが、今後もっと着物を着たいと思いました。中村さんのように男性が着物を着ている姿って素敵ですよね。中村さんの歌舞伎にも着物を着て、拝見したいです！

Q:このイベントに誰と来たいですか？

森星さん:友達とかと新しいアイデアを出し合いながら、見に来たいです。

中村獅童さん:若者から着物好きな人、幅広くいろいろな人と見たいですね。

【会の様子】



着物13点概要



有松鳴海絞り
雪花絞り(鵜飼家)

竹田 浩己



有松鳴海絞り
疋田三浦絞り(藤原すみ江)

竹田 浩己



有松鳴海絞り
鎧段絞り(松岡清子)

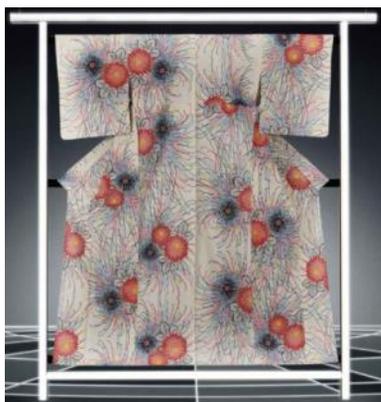
竹田 浩己

幻のくりと言われる手法や開祖から続く伝統絞り技法から、5種類の技法を用いた作品を制作。「鎧段絞り」の松岡清子、「疋田三浦絞り」の藤原すみ江、いずれも産地で現存唯一の制作者と言われ、「雪花絞り」もまた「板締め技法」を伝承しているのは鵜飼家のみとなっております。産地最後の一人と呼ばれる職人達が、渾身の技を振った貴重な作品となっています。



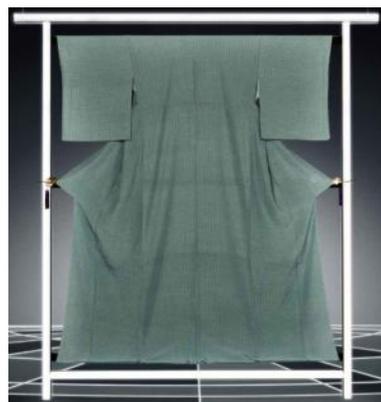
浪華本染浴衣
竹

小松 隆雄



浪華本染浴衣
乱菊(藍)

小松 隆雄



江戸小紋
菊格子

小宮 康正

今や過去の技術となってしまった「伊勢型紙」の型影から、制作を始めました。作品は浪華本染が流行した大正時代の型を1枚、昭和20年代の型を再現するもの2枚制作。作品は全て手作業の注染で行い、大正柄を1着、昭和柄を2種4着、合計5着の作成しました。

小さな格子の中に小さな菊がびっしりと染められた江戸小紋柄は、先代の故：康孝氏が考案したもので、作品は文化庁保管となっています。この型紙は、「道具彫」と「錐彫(きり)」で表されており、格子の中にかいにかきっちり9片の花びらが放射線におさめられるかは、型彫師の技にかかっています。

着物13点概要



小千谷縮
雪空 晴れる

樋口 隆司

小千谷縮とは新潟県小千谷市で主に生産される伝統的工芸品です。撚りが強いヨコ糸で織った布をぬるま湯の中で手で揉み、撚りがもどることで生地にシボが出来るのが特徴の麻織物で夏に最適とされています。本作品は日本伝統工芸展11回の入選を果たし、伝統技法を用い独自の世界を創造する産地を代表する作家、樋口隆司が制作致しました。



阿波しじら織
青藍段染め八重のしらべ

長尾 伊太郎

本作品は、うす色のむらに気を使いながら、又濃い色合いでは色目が重ならないよう気を付けてつくられています。何度か失敗し染め直しを数回行い、通常は1反約500gの糸量ですが、65kg程の染めを行い、その中で良い物だけを選定し、作品に使用しています。



大島紬
純泥染 龍郷柄 振袖

前田 豊成

「龍郷柄」は、一匹の金ハブが月の光で背模様をキラキラと輝かせながら、青々としたソテツの葉に乗り移ろうとした、その一瞬の神秘的な美しさを図案化したものと言いつたわれています。今ではあまり使われていない、大島紬本来の紡ぎ法である一元縀を用いて、この作品は織られています。



西陣織
淡黄地松皮菱菱ぎに菊片喰段替菊文様唐織

村井 治生

西陣織での能装束唐織は、緯糸の打ち込み密度が、一寸間に百越しとなる細かな織物。経糸は、繭から繰取ったままの無撚りの生糸を精練せずに染めた糸を、地緯は無撚りの生糸の精練した練糸を使用し、織職人の熟練の技を必要とする作品です。



加賀友禅
黒地段幕琴文様振袖 初音

柿本 市郎

日本三名園のひとつ「兼六園」にある徽軫灯籠は、脚が二股になっていて、琴の糸を支える琴柱に似ていることから名が付けました。この作品は、兼六園にて美しい琴の音を聞きながら歴代加賀藩主が宴を行っている様子を文様として表し、色は加賀五彩という伝統的な色を用い、重厚で気品ある色に仕上げた作品です。



京友禪

慶長桃山小袖松皮文様

藤井 寛

艶やかな舞妓の裾引き。慶長桃山小袖を参考に、「松皮取り」を全体に散りばめ、その中に宮中の四季を緻密に描き、ところどころに桃山小袖の代表作でもある「辻が花」が入っております。着物全体に柄を配し、地色も全て「挿し友禪」で染め上げており1年以上の歳月をかけ制作した渾身の作品です。



東熨斗文様振袖

東熨斗文様振袖

株式会社千總

重要文化財指定「東熨斗文様振袖」は、かつて京都の古美術商、野村正次郎のもとにあったが、1921年に来日したアメリカの大富豪、ジョン・ロックフェラー二世の篤志がきっかけで、現在の所蔵者である友禅史会へ寄贈されたものです。ロックフェラー二世から野村に宛てた手紙の中に、「愛する京都に寄贈する」と書かれていたと伝わる逸品です。本作品は制作当時(江戸時代)の染織技法を可能な限り再現し、現代の職人や研究者が集まり、2年をかけて復元した大変貴重な作品です。

【ゲストプロフィール】



■ケイト・モスさん

イギリスのファッションモデル。これまでに300以上の雑誌の表紙を飾ってきた。また、多くの広告キャンペーン等でも活躍している。

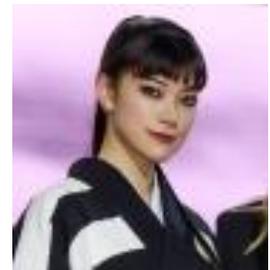


■中村獅童さん

祖父は昭和の名女形と謳われた三世中村時蔵。父はその三男・三喜雄。叔父に映画俳優・初代萬屋錦之介、中村嘉律雄。

従兄は、中村歌六、中村時蔵、中村又五郎、中村錦之助。

8歳で歌舞伎座にて初舞台を踏み、二代目中村獅童襲名。



■森星さん

日本のファッションモデル。1992年4月22日生まれ。東京都出身。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

「KIMONO ROBOTO」 PR事務局

担当：鈴江(070-3190-3660)、蜂須賀(080-4069-0740)、谷本、小山

TEL:03-6894-3260 FAX:03-5413-3050 E-mail:kimonoroboto_pr@steady-study.co.jp